

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和 4 年 3 月 28 日

公表:令和 4 年 4 月 1 日

事業所名 10にんという

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		定員に配慮しスペースづくりをしている。	利用者がやりたいことをできるだけ適切な場所を提供できるように心がけている
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		職員の確保を増や	職員の確保や適材にあった職員の確保に努め、配置数を基本より多く独自で設定している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		<input type="radio"/>	配慮は考えている。	バリアフリー化を考えて設備をしているが現実的に行動できていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		研修等で参考している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		会議にて職員に周知している。	できるだけ送迎時や会話のできる場面場面で意向を把握し、会議等で業務改善に繋げたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		定期的を確認	季節ごとや内容の掲示を心がけている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	外部評価をしていただける場所を探しています。	外部評価を元に制度の改善を図りたい。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修等を取り入れている。	内部・外部研修を一ヶ月に一度全体に行い、向上の確保に心がけている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		課題を客観的に分析して繋げている。	アセスメントをしっかりと1年に一回以上とることにより、ニーズの吸い上げを図る。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		個人情報をしっかりとした状態で、必要時に確認できる状況にしてある。	もっとわかりやすくしっかりした内容になっているアセスメントシートを作成中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		チームでの立案作り	活動の内容が一定ならないようチームを構成・立案をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		会議での説明・構成作り。	活動の内容が一定ならないようチームを構成・立案をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		細かい療育の内容	児どう一人一人に合わせた課題を設定し、時間内や環境に合わせての課題を決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		児どうに対し、三か月に一度会議を行っている。	個々にあった個別課題や集団課題の見直しを図り、計画書に見えれている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		支援内容の確認	職員間の伝達や一日一日の支援の内容説明をしっかりと行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		支援内容の確認	就業後に気になる点や振り返りを共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		書式の改善	日々の中で記録に必要な事柄が変化しているため、書式の正しい改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		書式の改善	日々の中で記録に必要な事柄が変化しているため、書式の正しい改善に繋げている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		定期的な確認	ガイドラインの変更や組み合わせる部分の確認作業	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		適正に合わせ参画させている。	関わりや状況により参画をしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		情報共有は積極的にアプローチしている。	学校との情報共有は積極的にアプローチしているが、なかなか共有できない学校側も存在するため、少しずつ寄り添い相談できる環境を作っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	環境の改善を整えてはいるが...	医療ケア児の環境を整えるために准看護師・看護師を配置し連携を整える体制を作っているように努力している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		利用体験時に幼稚園・保育園の先生との交流を図っている。	切れない支援を目標にしているため、できるだけ利用体験時等での幼稚園・保育所等の先生と話しをしており、新1年生になった時にスムーズに来所されるケースが多くある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		卒常時は必ず訪問をしている。	卒業前に支援会議を提案している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		研修等参加している。	専門機関との研修や会議に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		できるだけ参加している。	コロナ過もあり参加の機会が減っている状況ではある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		積極的に参加している。	参加し、地域課題を積極的に出していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		課題を明確に話している。	送迎時状況や課題の提案を担当者クラスのスタッフが説明して理解共有を図っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		研修等	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		書式の改善	書式の改善をは図り、説明をできるだけしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		心がけて行っている。	悩みや相談に対しできるだけ寄り添える支援を心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	会を作りたいと思うが、なかなかやれていない状況。	コロナ過もあり会を作ることができない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		できるだけ迅速適切に対応を図っている。	苦情内容によるが、すぐ改善や対応をして行けることに対しては、対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	環境を整える。	活動や行事等の体制はしているが、すべてがスムーズとは言えない。
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		厳重に管理	厳重に管理をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	整備中	コロナ過もあり整備中

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	研修の強化	二カ月に1回研修会や周知を行っている。保護者様の周知は準備中である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	定期的確認	年2回の訓練や備品確認を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	研修の強化	研修の機会を増やし外部や内部研修の強化に励んでいる。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>	説明と記載の強化	契約時や計画書の説明時に説明等をして理解をしていただいている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		契約時や計画書の説明時に親御様から説明や医師の指示書をコピーをいただき会議等で、周知確認している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	定期的確認	ヒヤリハットの共有しそのことに対し研修の機会を増やし外部や内部研修の強化している。	